



株式会社 ピクセラ
2006年9月期中間決算説明会



中間決算概要と通期見通し

事業展開の状況

事業の展望

2006年9月期中間実績（連結）

（単位：百万円、％）

	05年9月期 中間		06年9月期 中間		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	対前期比
売上高	3,655	100.0	4,004	100.0	349	109.6
売上総利益	785	21.5	736	18.4	△49	93.7
営業利益	△108	△3.0	△238	△5.9	△130	—
経常利益	△199	△5.5	△328	△8.2	△129	—
当期純利益	△222	△6.1	△306	△7.6	△84	—



2006年9月期中間実績（単体）

（単位：百万円、％）

	05年9月期 中間		06年9月期 中間		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	対前期比
売上高	3,655	100.0	4,004	100.0	349	109.6
売上総利益	784	21.5	727	18.2	△57	92.7
営業利益	△108	△2.9	△230	△5.7	△121	—
経常利益	△125	△3.4	△219	△5.5	△93	—
当期純利益	△148	△4.1	△196	△4.9	△48	—



2006年9月期中間業績のポイント

◆製品売上

(キャプチャー製品)

□計画数量の未達

・夏モデル需要が第3四半期での取り込みに

□計画単価の維持

・地デジ、アナログ製品とも計画単価維持

(半導体製品)

□計画数量、単価達成

◆ソフトウェアロイヤリティ

(デジカメ等バンドルソフト)

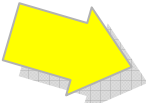
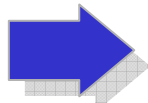
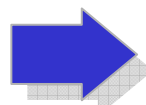
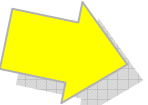
□計画数量達成

□計画単価弱含み

(TVアプリ)

□計画数量未達

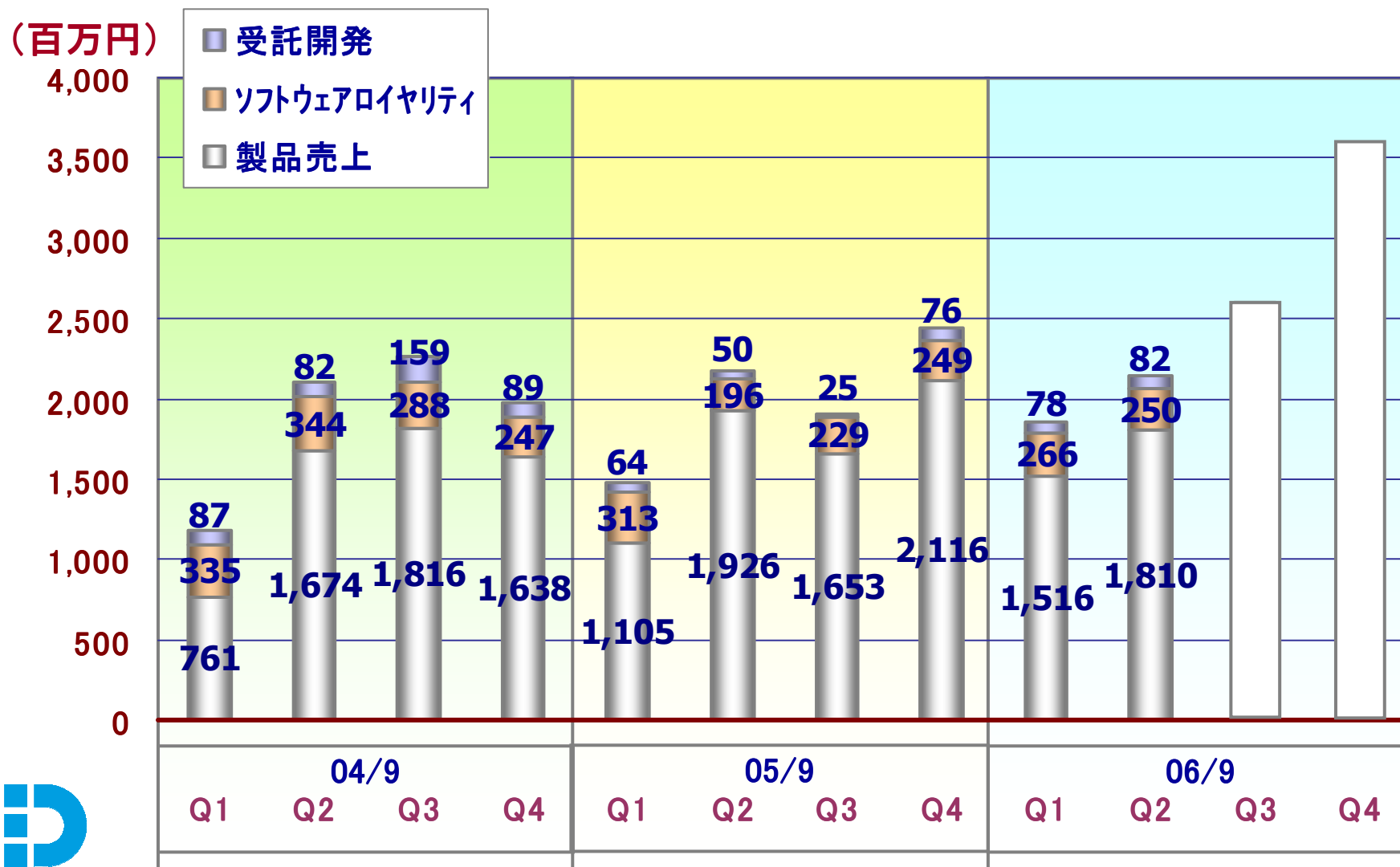
□計画単価弱含み

	数量	単価
ハードOEM製品		
ソフトウェアロイヤリティ		



※前期までにおける「ハードウェア製品」「ソフトウェア製品」は、当期から「製品売上」として表示しています

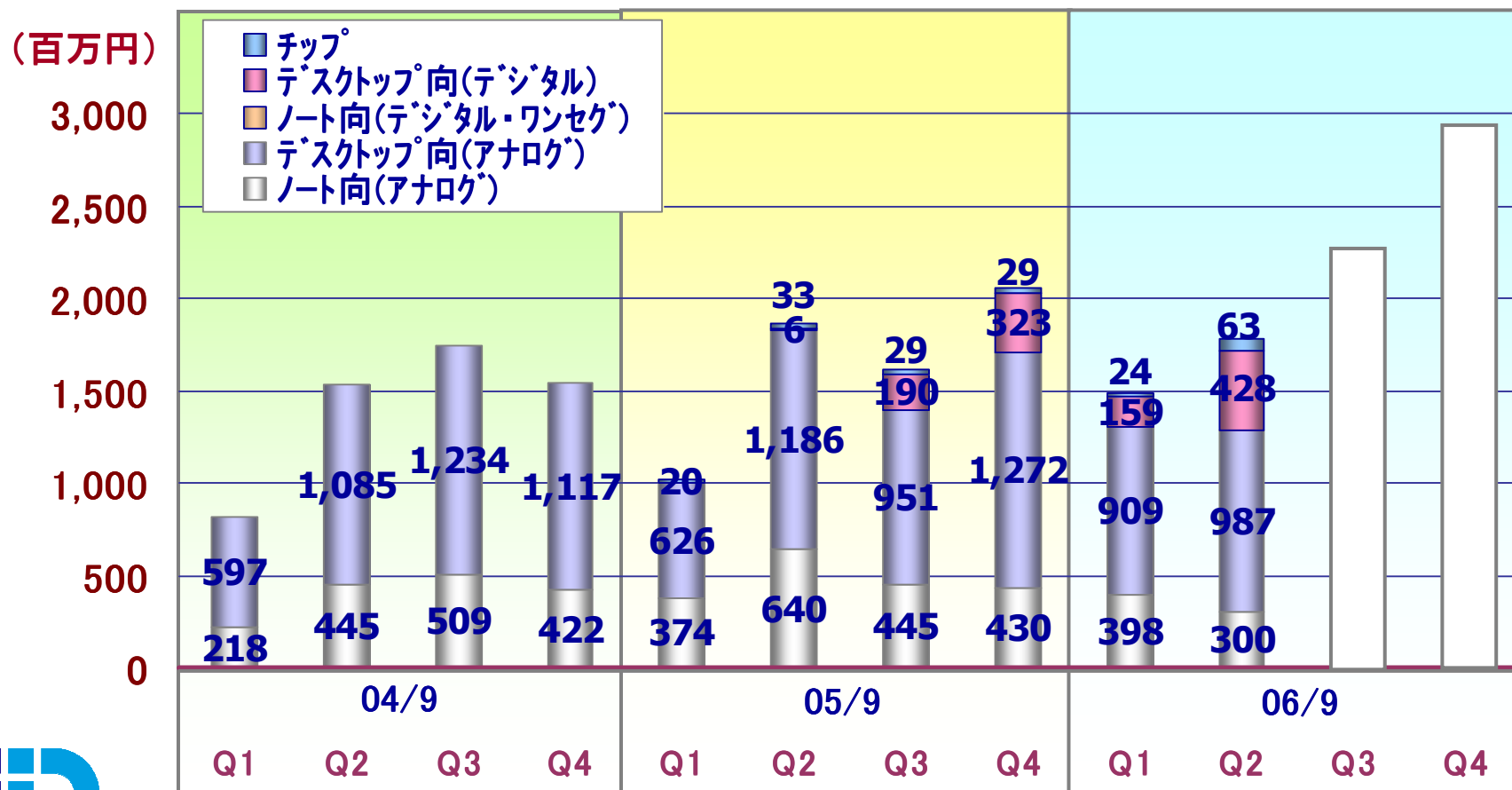
製品群別売上高推移(単体)



※前期までにおける「ハードウェア製品」「ソフトウェア製品」は、当期から「製品売上」として表示しています

ハードOEM向け種類別(単体)

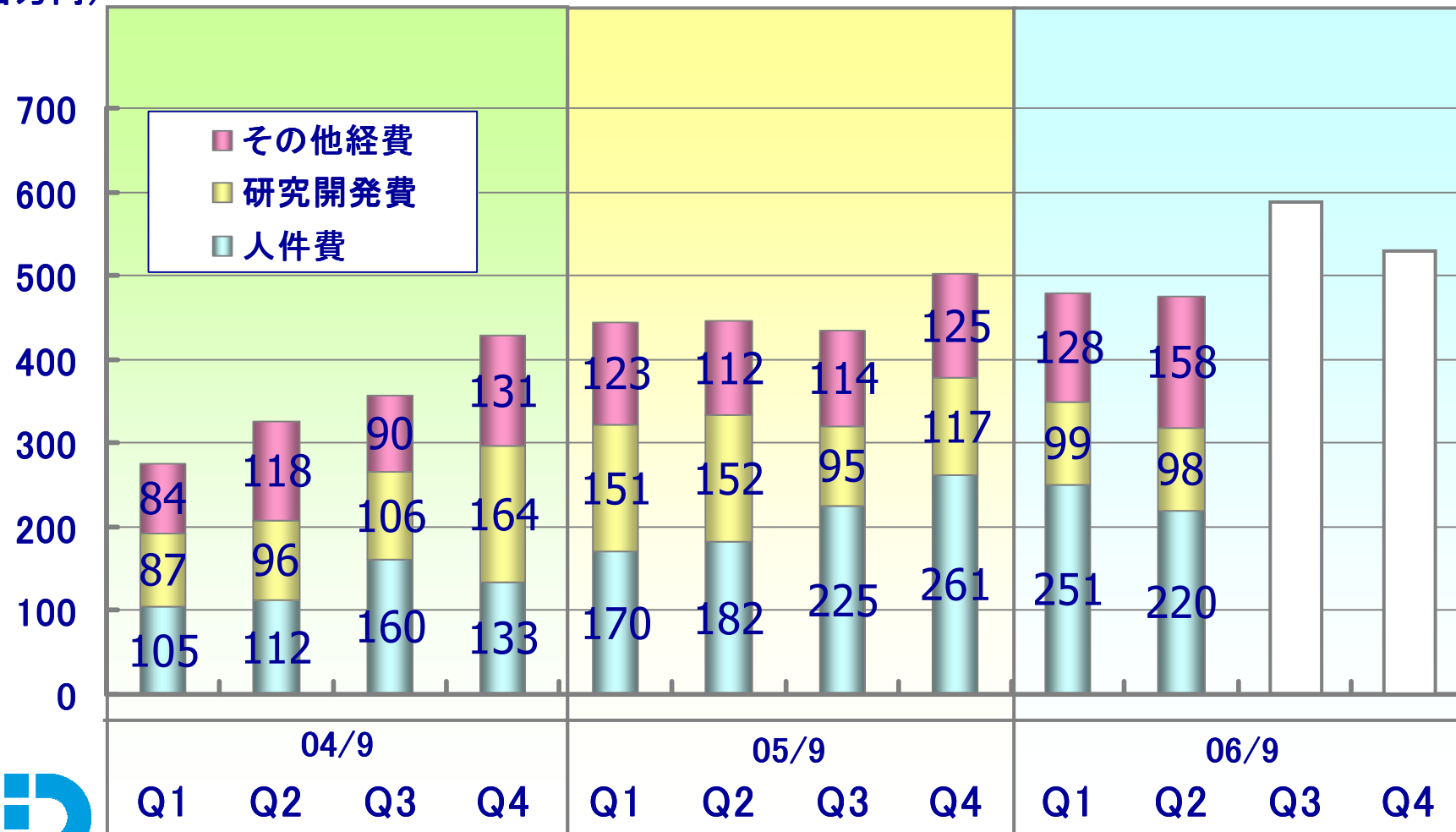
【ハードOEM:デスクトップ/ノート別売上高構成】



※ デスクトップ向、ノート向とも、「デジタル」にはデジ・アナ混載型製品を含んでいます

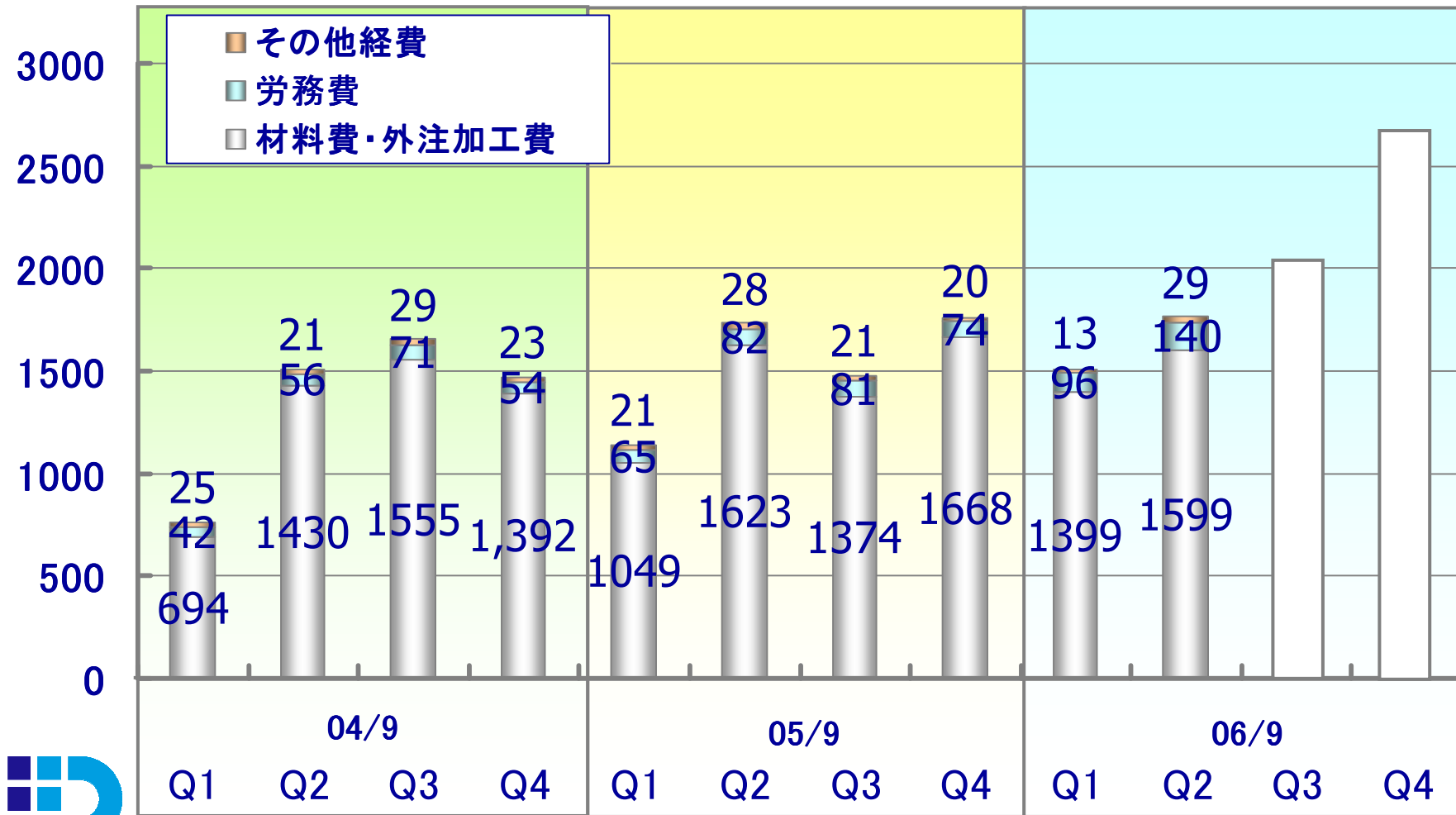
販管費の推移(単体)

(百万円)



原価の推移(単体)

(百万円)



2006年9月期見通し(連結)

(単位: 百万円、%)

	2005年9月期		2006年9月期(予定)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	対前期比
売上高	8,006	100.0	10,236	100.0	2,230	127.9
売上総利益	1,906	23.8	2,256	22.0	350	118.4
営業利益	62	0.8	△208	△2.0	△270	—
経常利益	△110	△1.4	△378	△3.7	△268	—
当期純利益	△155	△1.9	△452	△4.4	△297	—



2006年9月期見通し(単体)

(単位: 百万円、%)

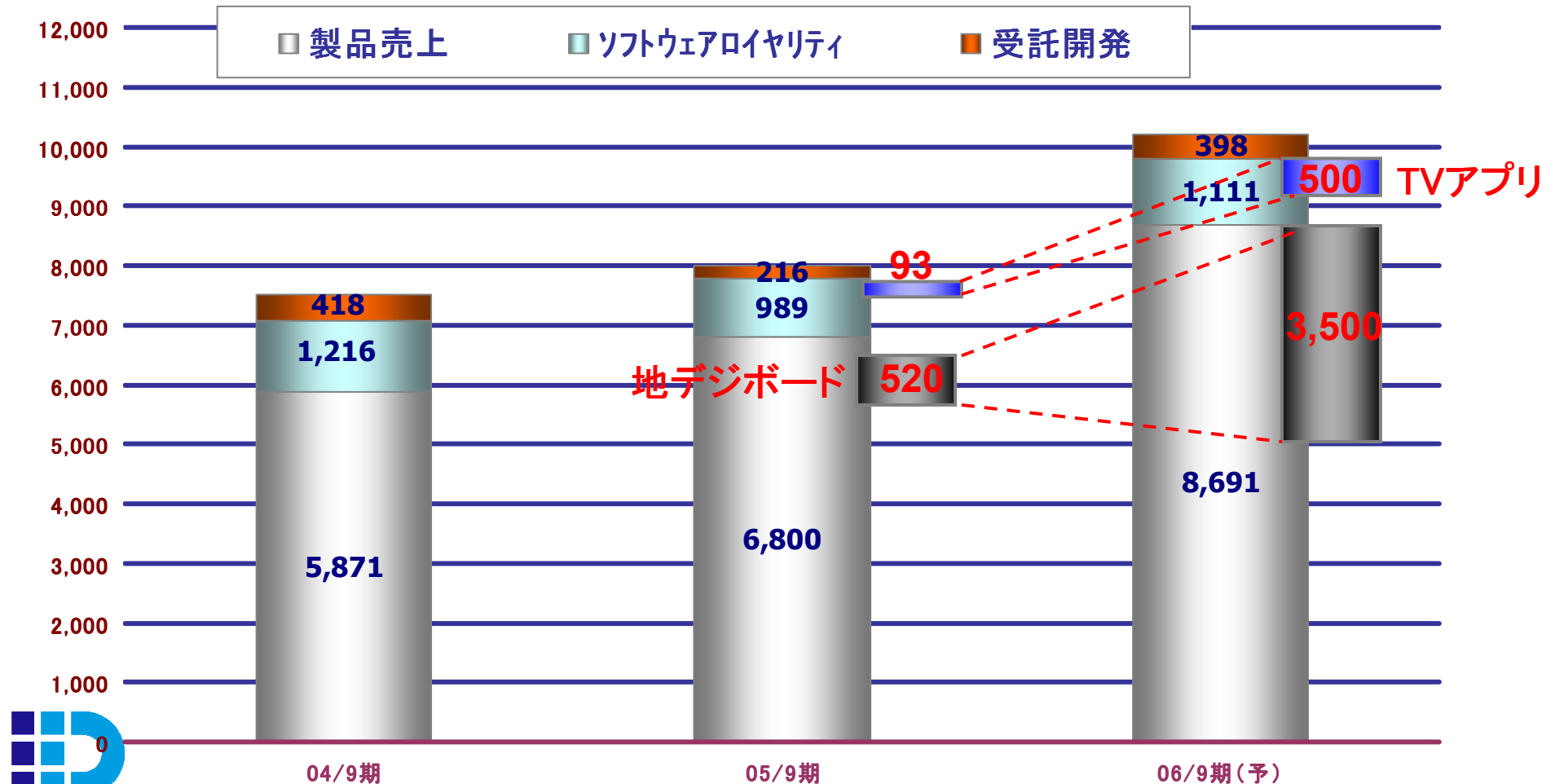
	2005年9月期		2006年9月期(予定)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	対前期比
売上高	8,006	100.0	10,201	100.0	2,195	127.4
売上総利益	1,894	23.7	2,234	21.9	339	117.9
営業利益	61	0.8	156	1.5	94	253.3
経常利益	71	0.9	151	1.5	79	211.2
当期純利益	26	0.4	79	0.8	52	296.4



売上高の見通し(単体)

【製品売上高構成推移】

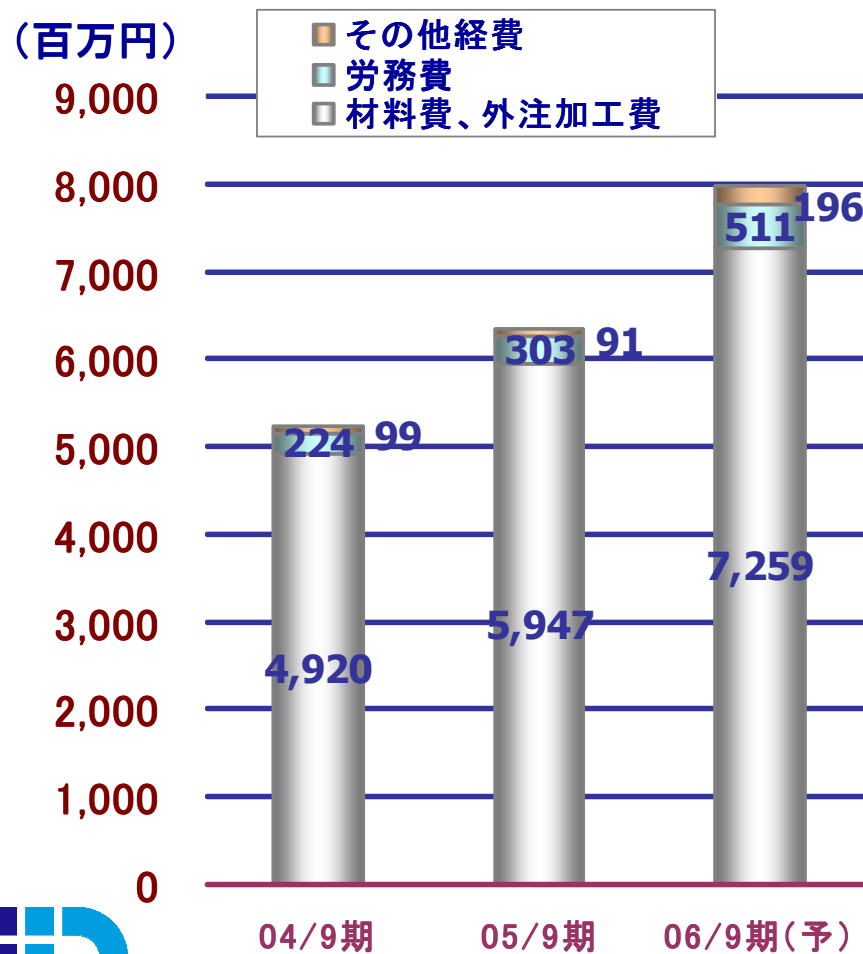
(百万円)



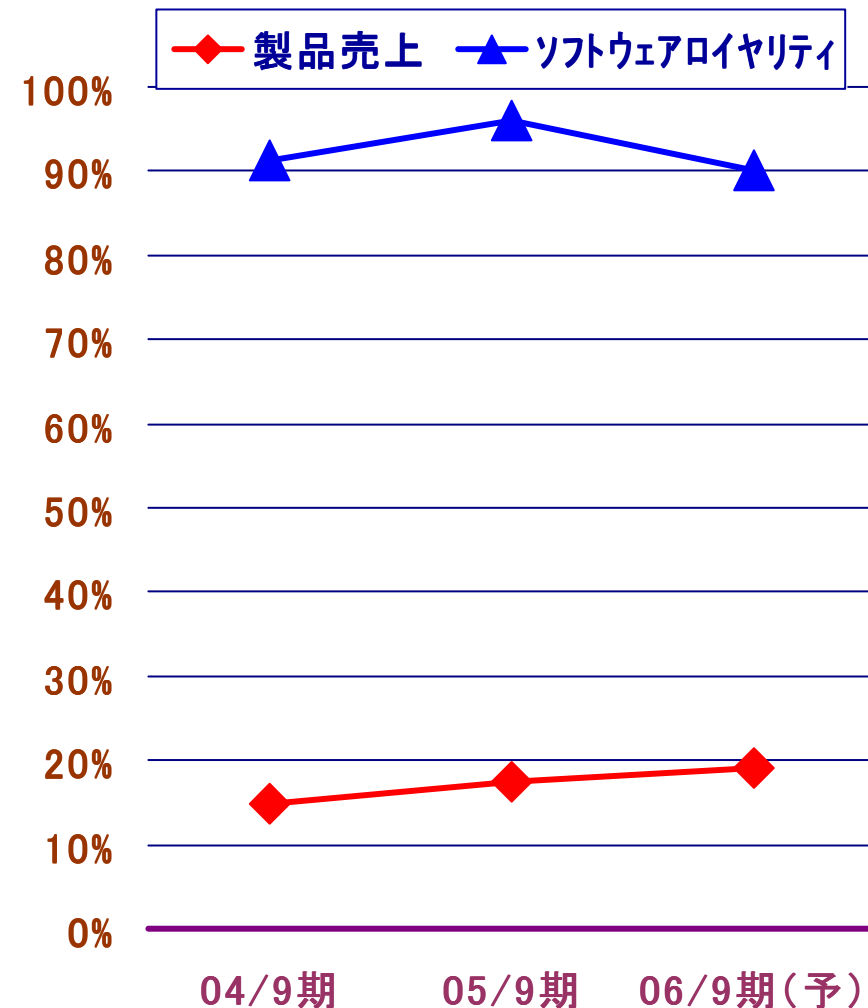
※前期までにおける「ハードウェア製品」「ソフトウェア製品」は、当期から「製品売上」として表示しています

原価及び粗利の見通し(単体)

【原価の推移】



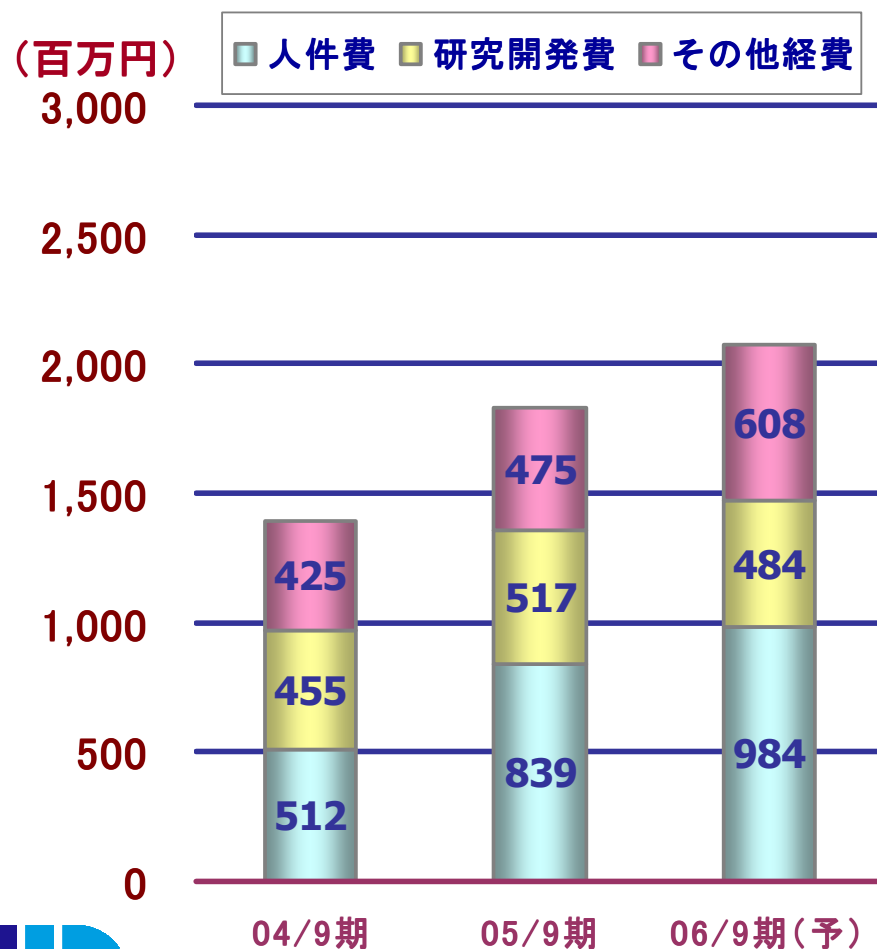
【粗利率の推移】



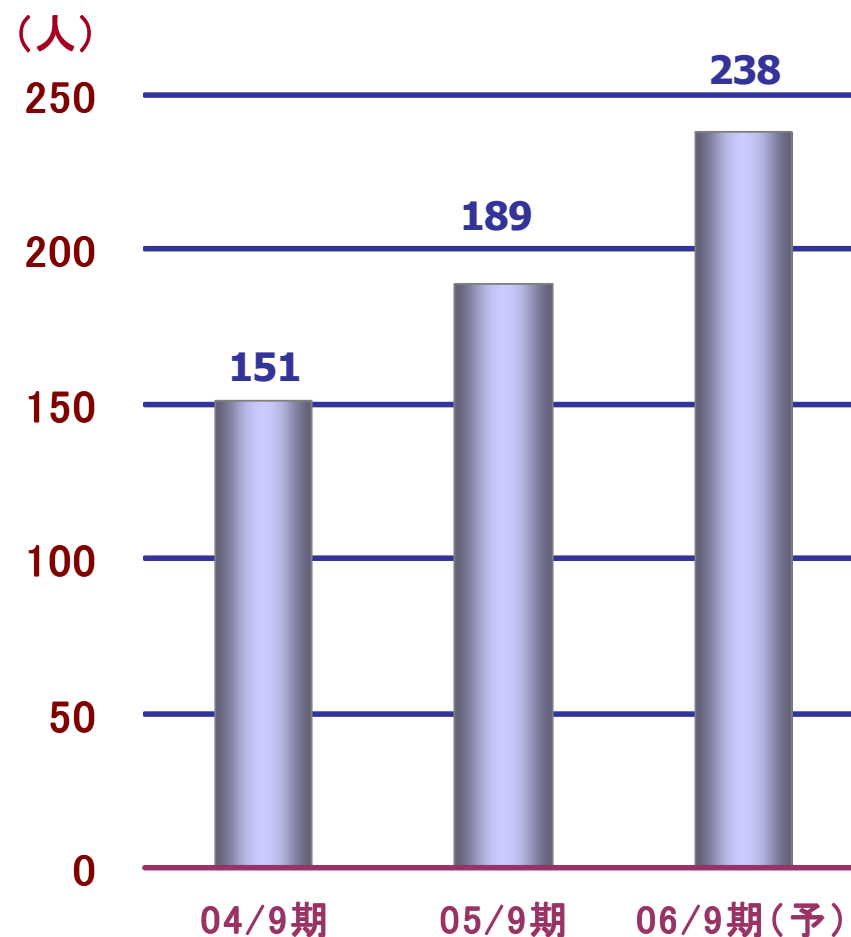
※前期までにおける「ハードウェア製品」「ソフトウェア製品」は、当期から「製品売上」として表示しています

販管費及び人員計画の見通し(単体)

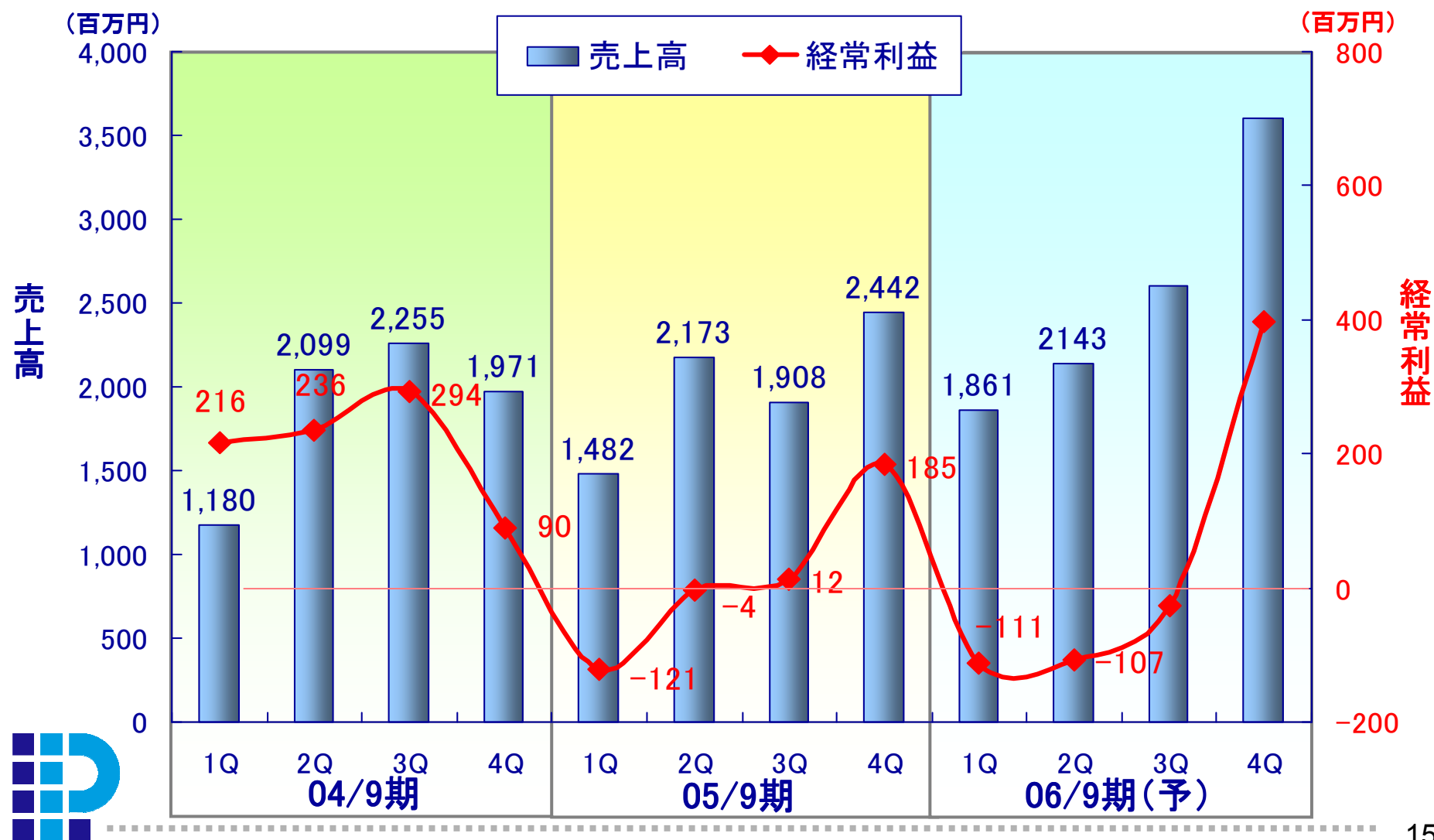
【販管費】



【人員数】



売上高・経常利益推移(単体)





中間決算概要と通期見通し
事業展開の状況
事業の展望

2006年9月期中間実績

05年 11月 地上デジタルTVキャプチャボード、シャープ製AVセンターパソコンに採用

12月 コンテンツ配信事業を開始(ピクセラサウンドブック

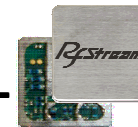
ワンセグ／デジタルラジオ／FMラジオの3波対応モバイル受信機を開発

iPod用ムービーファイル変換ソフト(monoConverter)を発売



06年 1月 ImageMixer 3 をリリース開始

2月 (RfStream)デジタル・アナログ両放送受信対応シリコンチューナー
TW-1000シリーズを開発



3月 ピクセラブランド・デジタルテレビ対応パソコンを発売



ノートPC用miniPCI接続地上デジタルテレビキャプチャボードを発表

ノートPC用PCカード型ワンセグ受信機を発表

ImageMixer mini DVD Dubbing 8-12



今期の展開

■（製品売上）ハードウェアの展開

- ・TVキャプチャーボードのシェア拡大
- ・TVキャプチャーボードの進化
- ・PC用地上デジタルTV製品の展開
- ・PC用地上デジタルTV製品売上高推移

■ソフトウェアロイヤリティの展開

- ・ニューメディア・カム向けアプリ
＋ TV視聴アプリの拡大

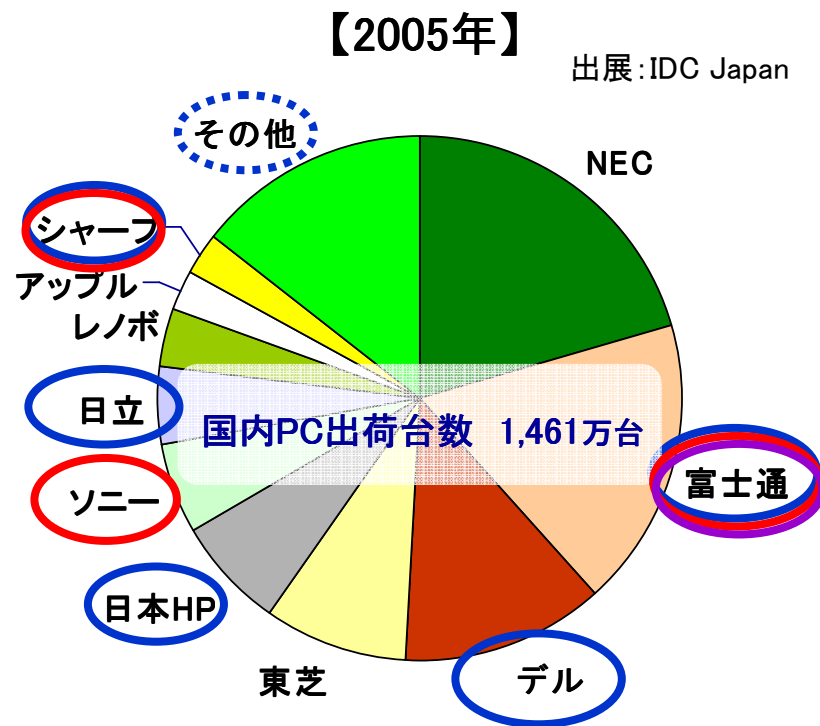
■RfStreamの子会社化



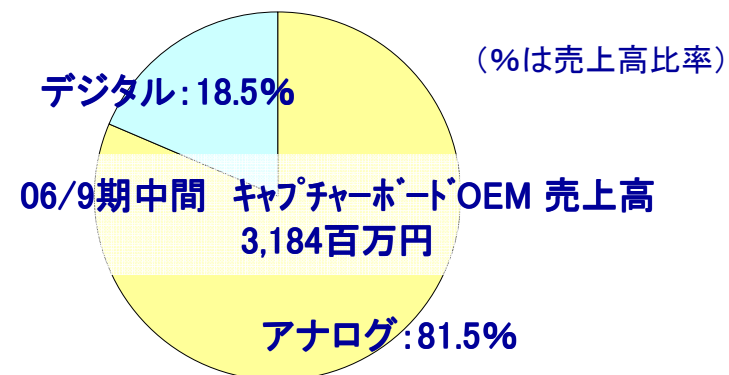
ハードウェアの展開

TVキャプチャーボードのシェア拡大

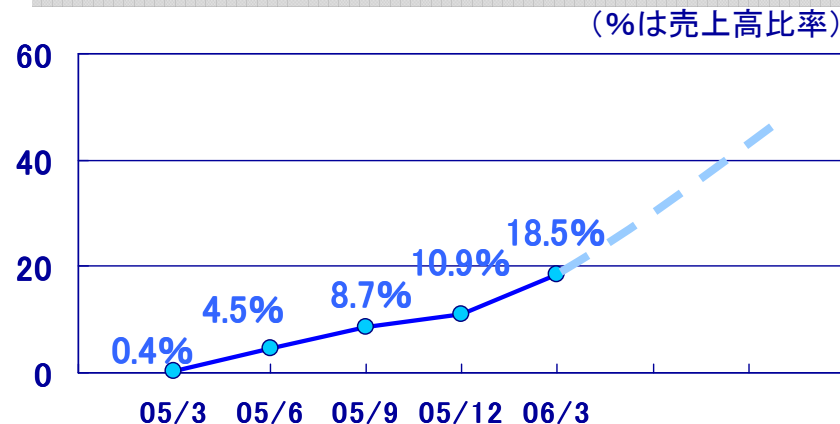
パソコンの国内出荷シェアの状況



TVキャプチャーボードのデジ・アナ比率



デジタルTVキャプチャーボードの推移

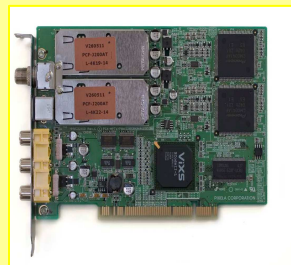


- ピクセラOEM供給先(アナログ)
- ピクセラOEM供給先(デジタル)
- ピクセラOEM供給先(ワンセグ)

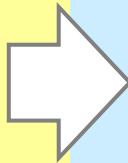
ハードウェアの展開

TVキャプチャボードの進化

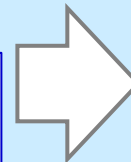
デスクトップPC



高画質化
Wチューナー化

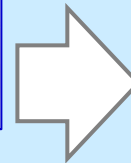


地上+BS+CS



地上+BS+CS

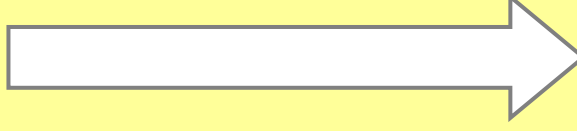
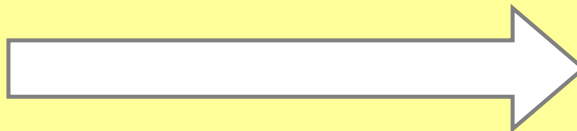
デジタル
改良型



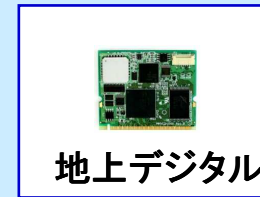
地デジ+アナ

デジ・アナ
併載型

ノートPC



地デジ+アナ



地上デジタル

デジタル
超小型

アナログ

デジタル



ハードウェアの展開

TVキャプチャーボードの進化

デジタル・アナログ併載型製品の開発

MPEG-2デコーダーの最適化等により、PCへの負荷低減

Pentium[®]4搭載PC → Celeron[®]搭載PC へ製品搭載の裾野拡大



PCI接続・デスクトップPC用



PCI Express接続・ノートPC用

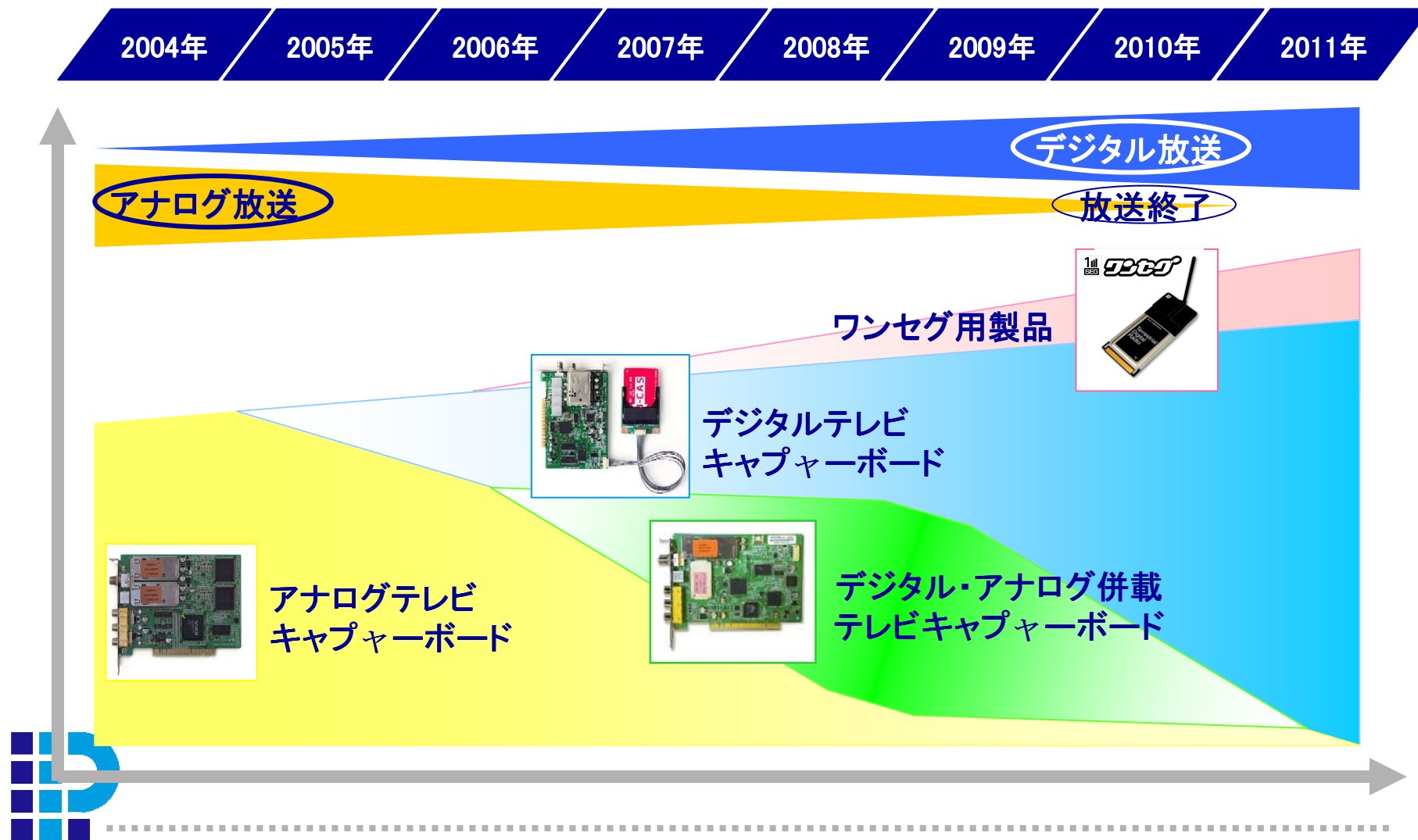
RfStreamシリコンチューナー搭載

デジタル用: TW-1000ST アナログ用: TA-0500ST



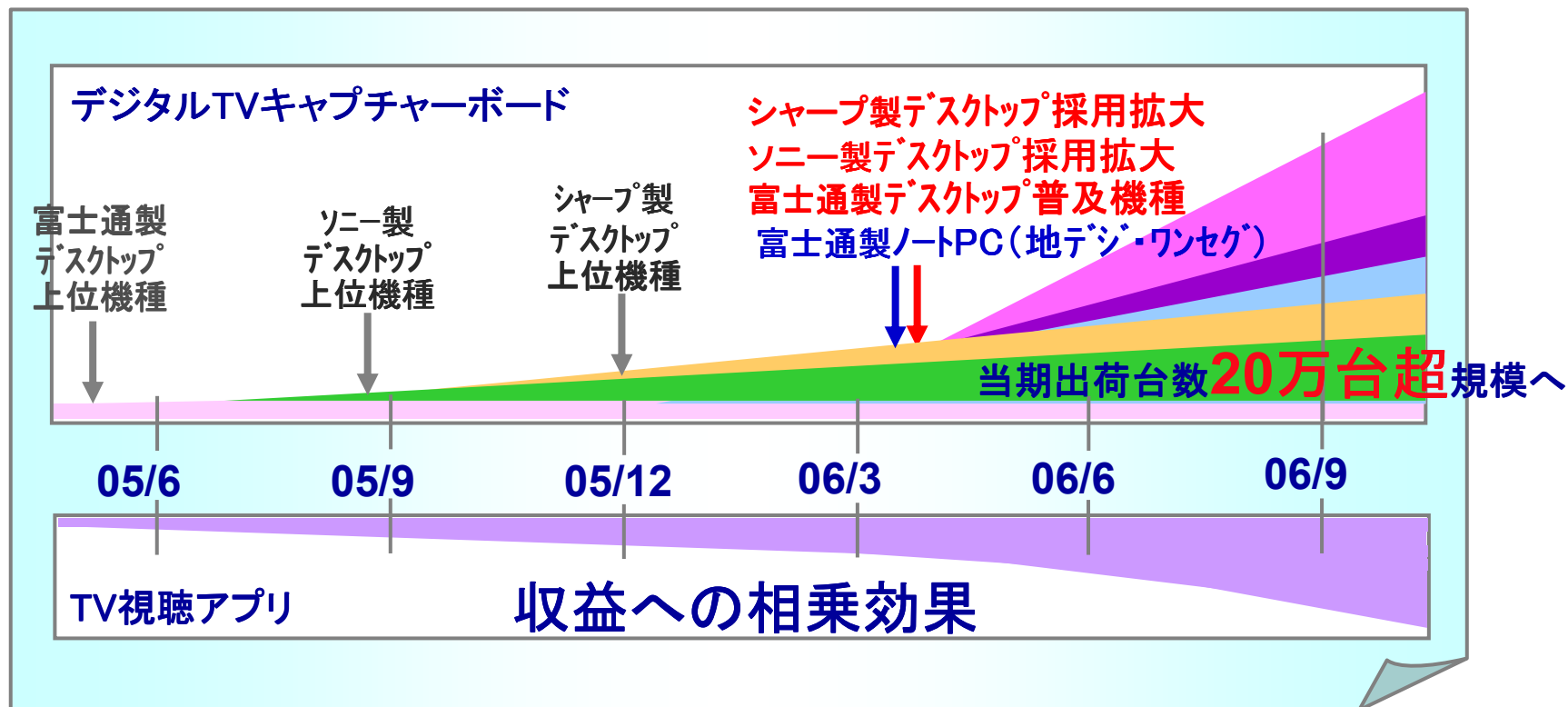
ハードウェアの展開

PC用地上デジタルTV製品の展開



ハードウェアの展開

PC用地上デジタルTV製品売上高推移



デスクトップPC用
(デジ・アナ併載型)



ノートPC用
(デジ・アナ併載型)



デジタルテレビ視聴アプリ
(Station TV Digital)



PCカード型ワンセグ受信機



ワンセグ視聴アプリ
(Station Mobile)

ハードウェアの展開

PC用地上デジタルTV製品の展開

デスクトップ



メーカー名	対象	供給開始時期
富士通	上位機種	2005/4
ソニー	上位機種	2005/9
シャープ	上位機種	2005/10
富士通	普及機種	2006/4
新規先獲得に向けた営業展開		

ノート



メーカー名	対象	供給開始時期
富士通	上位機種	2006/4
新規先獲得に向けた営業展開		

ワンセグ

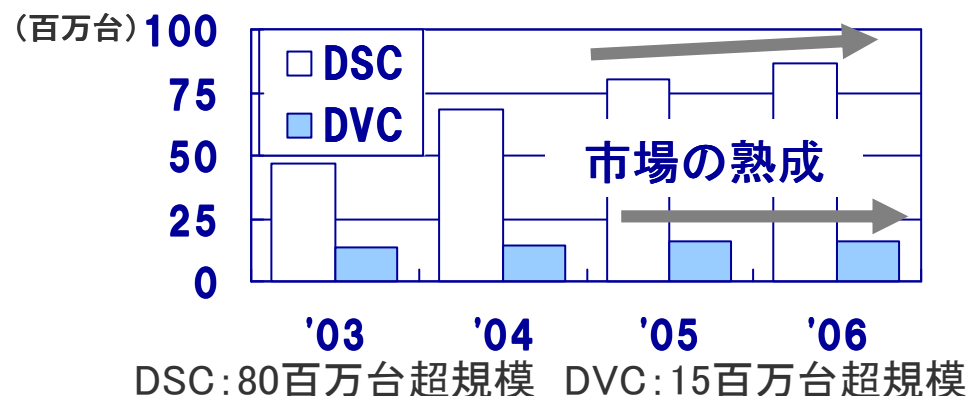


メーカー名	対象	供給開始時期
富士通	モバイル機種	2006/4
新規先獲得に向けた営業展開		

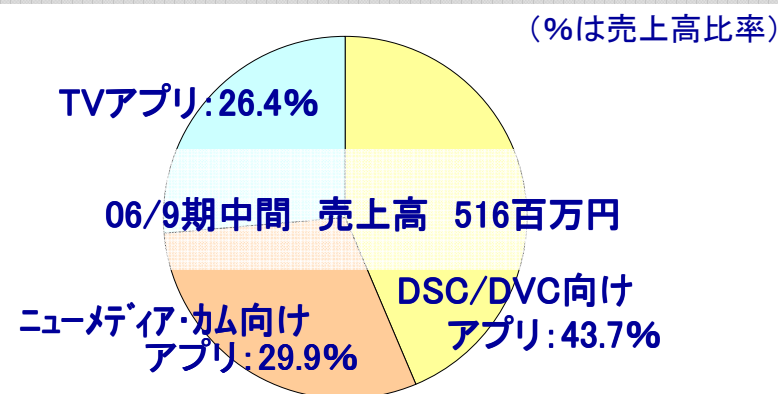
ソフトウェアロイヤリティの展開

ニューメディア・カム向けアプリ + TV視聴アプリの拡大

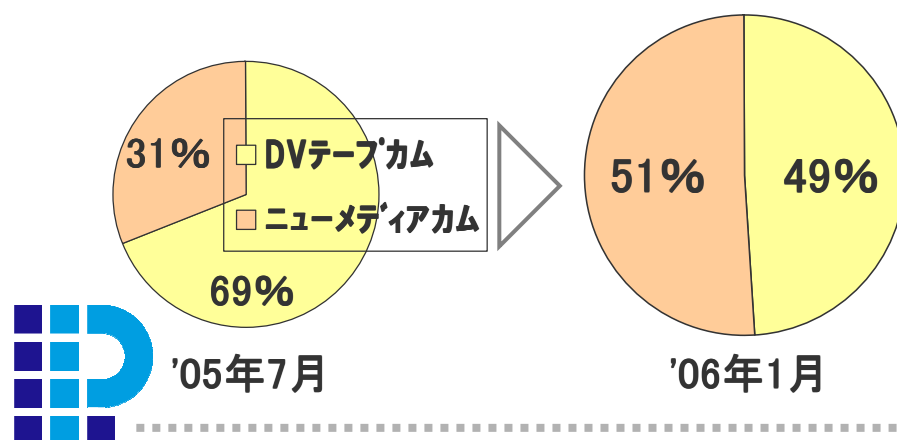
DSC/DVCの世界生産台数の推移



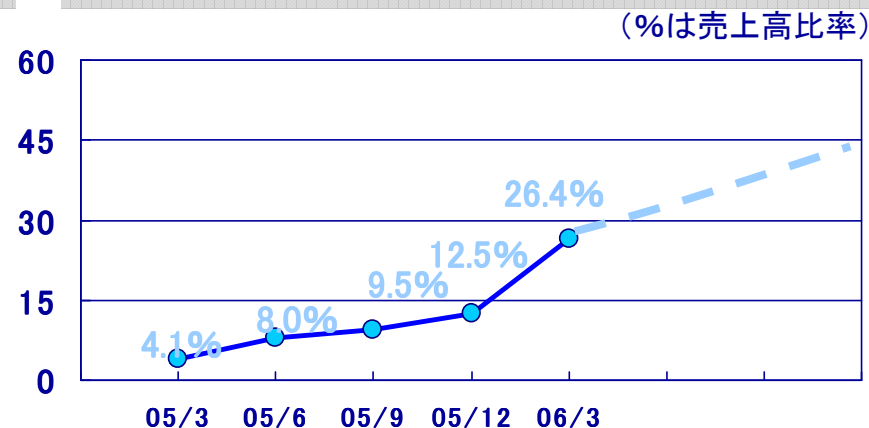
ロイヤリティの構成比率



DVCの国内媒体別シェアの推移



TV視聴アプリの推移

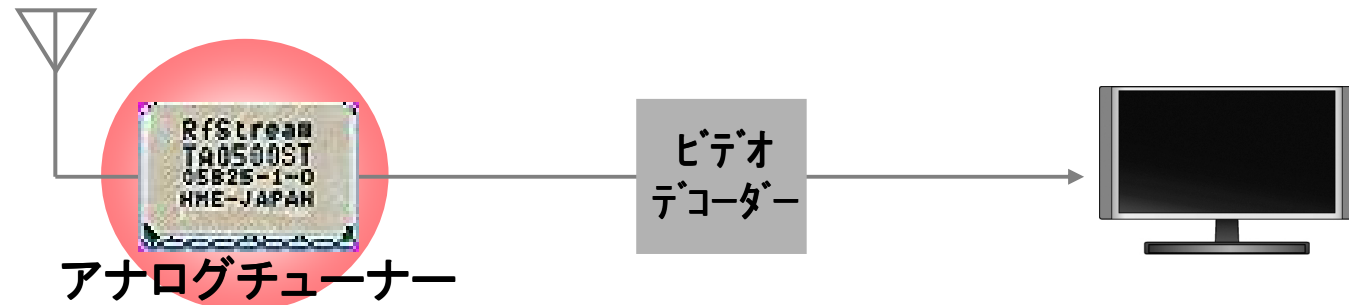


RfStreamの子会社化

ハード・ソフト両コンポーネントの保有によるシナジー

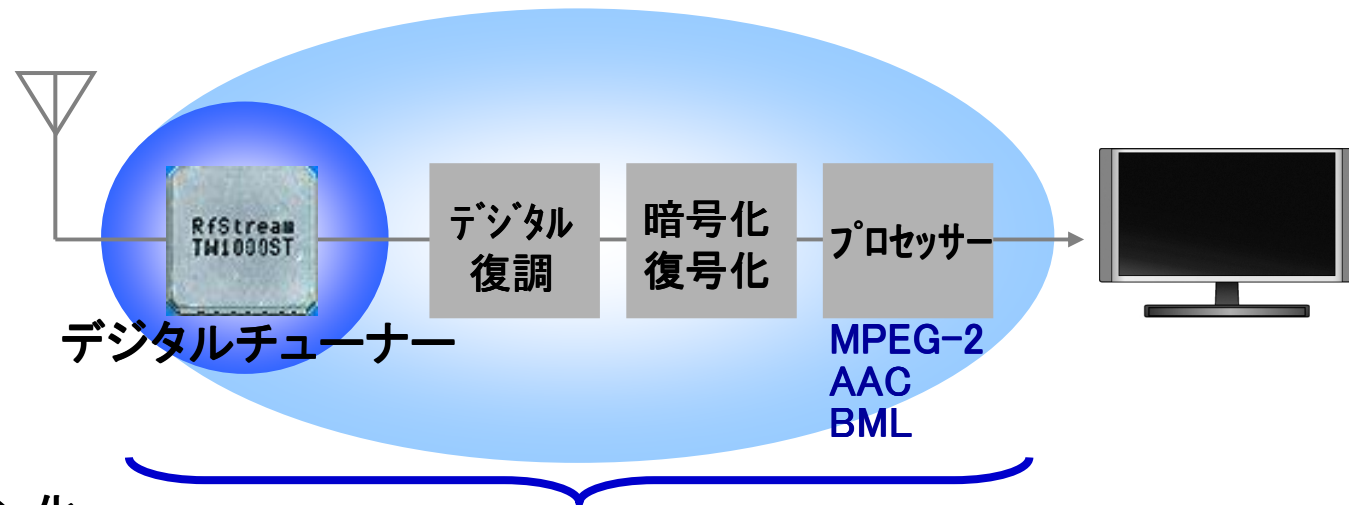
アナログ

チューナー単体での
ビジネスが可能



デジタル

チューナー
＋
周辺回路
＋
ソフトウェア



ターンキー・ソリューション化
によりビジネス拡大

技術資産保有会社の子会社化による
ピクセラグループとしての技術資産の効率的活用



RfStreamの子会社化

ビジネスモデル

パートナー企業

富士通

- ・ OFDM供給

日立メディア
エレクトロニクス

- ・ モジュール化・量産
- ・ 信頼性保証
- ・ 品質保証

RfStream

- ・ シリコンチューナ開発
- ・ 周辺回路設計



ピクセラ シンセシス

- ・ OEM先へのシステム提案
- ・ アプリケーション開発
- ・ OFDM開発
- ・ MPEG DECODER開発
- ・ AAC DECODER開発
- ・ BML開発
- ・ ドライバ開発

OEM先



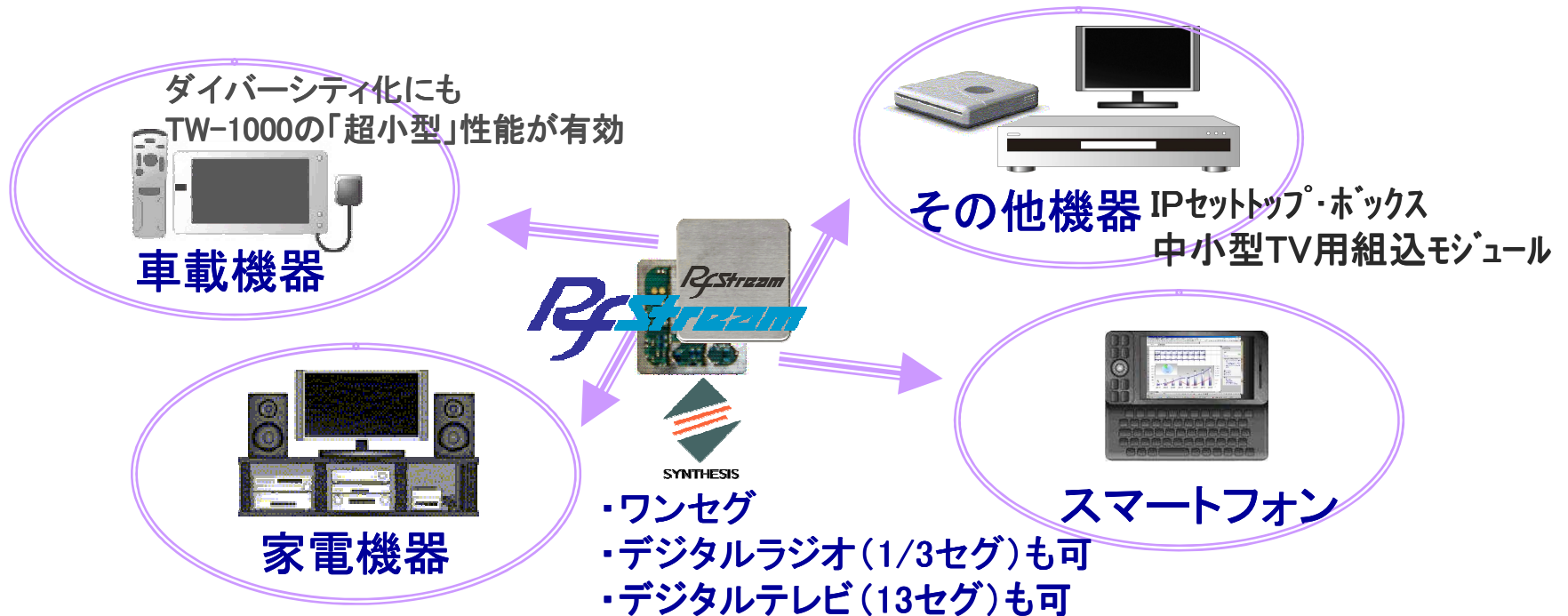


中間決算概要と通期見通し
事業展開の状況
事業の展望

今後のビジネス展開

PCビジネスからポストPCビジネスへ

～ PC関連の技術資産 を デジタル家電分野へ ～



Windows CE 搭載の中小型カラー液晶搭載機器における
「ワンセグ」「地デジ」のデファクトスタンダードを目指す



資料取扱上のご注意

- 本資料に記載されております当社の将来の業績に関わる見通しにつきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が独自に予測したものであり、リスクや不確定な要素を含んでおります。従いまして、見通しの達成を保証するものではありません。
- 当社の内部要因や、当社を取り巻く事業環境の変化等の外部要因が直接または間接的に当社の業績に影響を与え、本資料に記載した見通しが変わる可能性があることをご承知おき願います。

